



わずかな余白とスケールの対比が墨田らしさを与える



夜にはトイレが街の街灯となり近隣を照らす

# 小径と光のトイレ

狭小を懐かしく墨田の街と互に

## 01 コンセプト 3カ月歩いて感じたこと 02 全体構成 マテリアルと構造 03 小径の役割 04 ランドスケープ計画 軸と桜並木とスカイツリー 05 サイン計画 06 コミュニティデザイン 職住学遊が融合した街への3つの提案

墨田を歩き感じたことから、墨田らしいトイレを考えた

■遠景 建築における大小

■中景 間口における大小

隣り合う住宅と町工場  
下町とスカイツリー

■近景 小さな都市の余白に息づくもの

物の集積  
軒先園芸  
空中園芸

墨田らしい風景とは....  
わずかに残された余白に表出するヒューマンスケールなしつらいとピクスケールの混在/対比

i) 小さな各トイレのボリュームを配置  
ii) 各個室間に僅かな余白-小径を残す  
iii) 小さなボリュームを大きな屋根で覆う

墨田の風景の中で見られた  
小さなスケールと大きなスケールとの"対比・混在"を表す

material

- 屋根: etfefilm
- 鉄骨構造体
- 小径: aluminium
- 個室: wood
- 外構: gravel
- 災害用地下ピット

墨田の建物が、わずかに残された小さな隙間を上手に使いこなしているように小さなボリューム間にできた余白-小径に様々な役割を持たせる

■環境装置として  
風が抜けて、光が差し込む各トイレは小径に向かって大きな開口を持ち明るい内部空間が広がる

■構造として  
柱を小径の中に納めたそこから出た梁が屋根を支える

■ヒューマンスケールな居場所として  
様々な機能が個室エンドラインより伸びた部分に取り付け

非常時トイレ用テント収納  
外洗面  
掃除用具掛け  
外付けベンチ  
植栽

04 ランドスケープ計画 軸と桜並木とスカイツリー

桜並木を計画敷地まで連続させることで公園との一体感を演出した  
また、小径と大学内貫通通路の軸を平行に配置しキャンパスとの親和性を高める

Chiba university Sumida satellite campus

■配置図兼屋根伏せ図 (1:1500)

05 サイン計画

小径を想起させるデザインを考えた

・サインイメージ

震災対応型  
このトイレは地下にピット等を設けてあり、災害時には避難所として使えるようになります。

06 コミュニティデザイン 職住学遊が融合した街への3つの提案

■大きなスクリーンとなる屋根  
墨田サテライトキャンパスは様々な映像投影場所がある屋根がスクリーンとなり屋外にも映像作品の発表空間が生まれる  
住民にも大学での研究活動を公開する

遊・学

■ファニチャー  
屋台とベンチを墨田キャンパス学生が制作する  
屋台は公園の中でマルシェなどの屋外イベント時に利用  
ベンチは災害時、防災トイレへと変化する

職・住学・遊

■見える掃除用具収納  
自発的にトイレの掃除を行う大学生や地域住民が街の維持に関わる

住・学



建築面積 12.1㎡  
 延べ床面積 21.6㎡  
 最高高さ 5.4m  
 階数 地上1階  
 構造 鉄骨造

